

誕生!!!

チバニアン

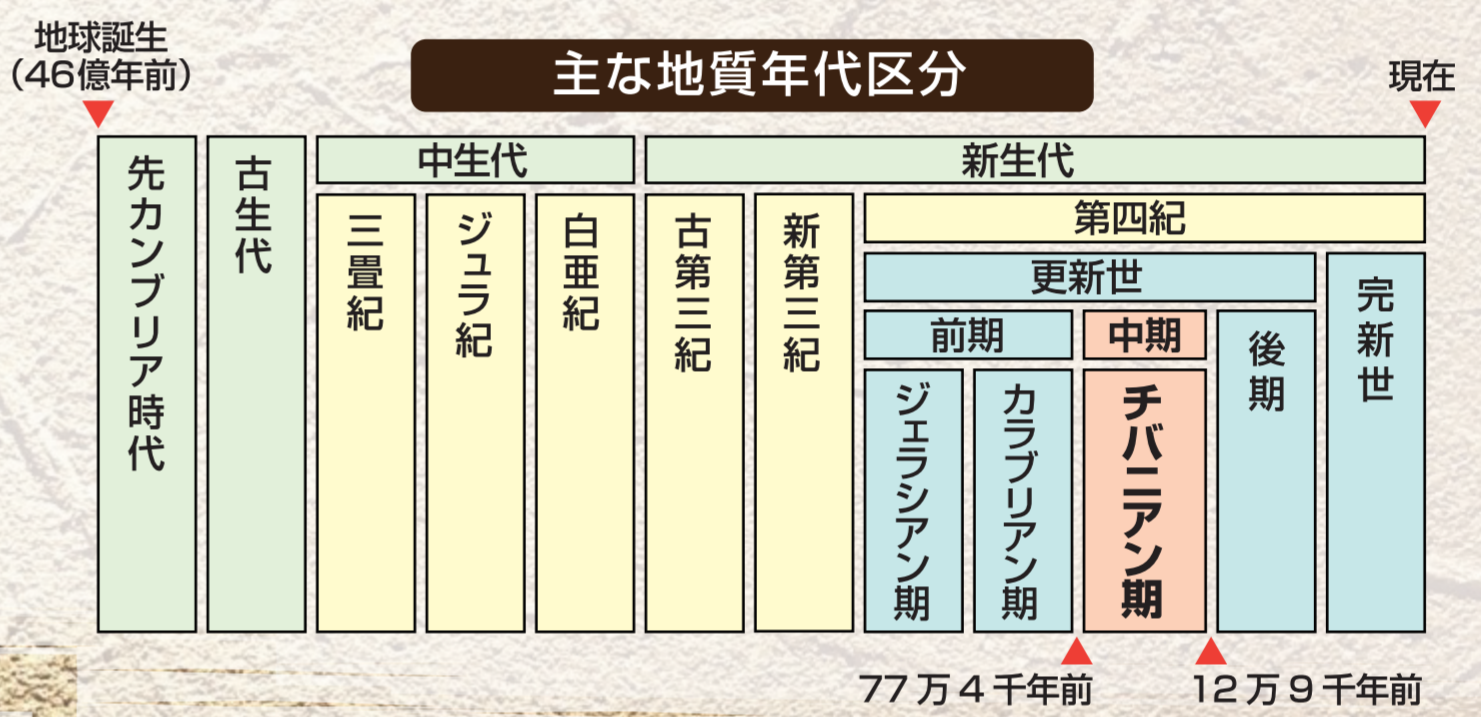
千葉時代

日本初のGSSPに認定!

誕生から46億年という長い歴史を持つ地球を、細かく時代区分する際、基本的には生物の出現や絶滅など地球規模の大きな出来事を示す化石が使われます。しかし、化石の産出には地域ごとの偏りがあったり、地域によって時期がずれたりすることから、近年では地磁気の逆転を併用することも多くなりました。そして、時代の境界ごとに、その境界がよくわかる地層が国際的な模式地(GSSP:国際境界模式層断面とポイント)として国際地質科学連合によって定められています。

地球の歴史の中で最も新しい地磁気逆転の時期が、約77万年前の第四紀更新世の前期と中期の境界にあたりますが、そのGSSPがまだ決まっていなかった。GSSPにふさわしい連続性がよく、さまざまなデータが得られる地層は主に海や湖の堆積物ですが、そのような性質の新しい時代の地層が陸上で見られる場所は、世界的にも極めて少ないからです。それが千葉県市原市田淵に存在するのです。

そこで、日本の研究者グループが、この時代境界のGSSPの候補として、養老川中流域の地層(千葉セクション)を申請しました。全4段階ある審査を経て、令和2年1月、ついに承認されました。今後、第四紀中期更新世の時代名として「Chibanian (Age);チバニアン(期)」が採用されることとなります。国際的な時代の名称に日本の地名である「千葉」が使われる初の快挙です。

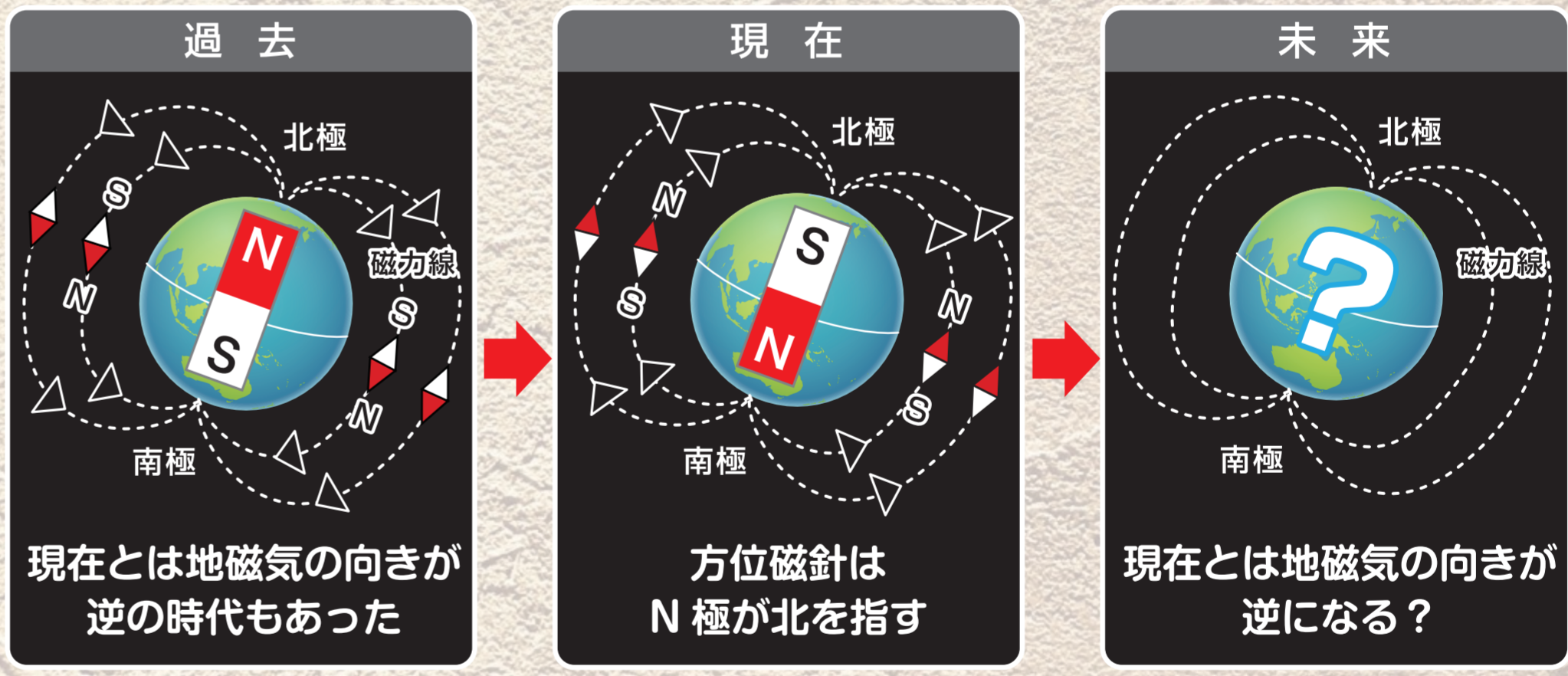


地磁気の逆転は繰り返す

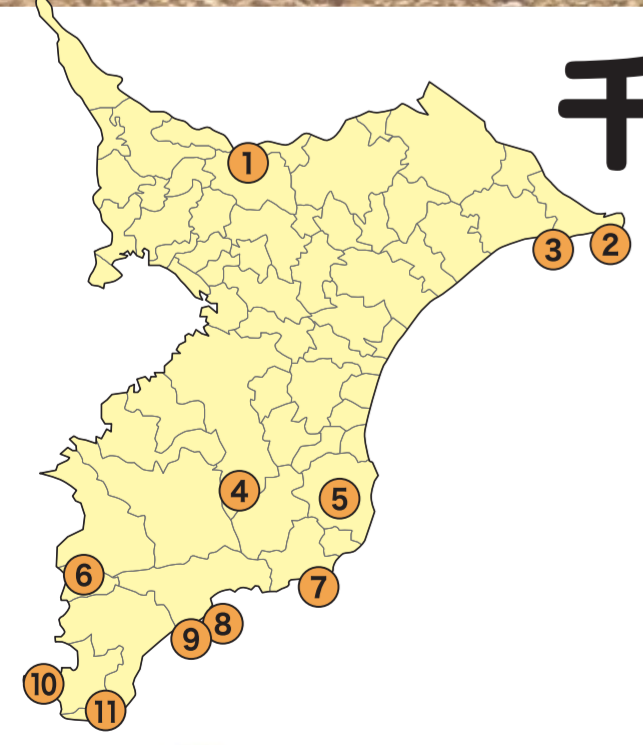
方位磁針は常にN極が北を向きます。これは地球自体が大きな磁石のようにになっているからです。地球が持つ磁場を地磁気と呼びます。現在は、北極付近がS極、南極付近がN極になっていますが、地球の長い歴史をみると何度も逆転していることがわかっています。しかし、どうして逆転するかはまだ明らかになっていません。



現在と地磁気の向きが逆の時代もあったなんてびっくり!!



千葉県には魅力的な地層がいっぱい! 『千葉の地層10選』



- 1 木下貝層(印西市) きおろしかいそう
- 2 犬吠埼の白亜紀浅海堆積物(銚子市) いぬぼうさき ぼくあきせんかいたいせきぶつ
- 3 屏風ヶ浦(旭市・銚子市) ひょうぶがうら
- 4 養老川流域田淵の地磁気逆転地層(市原市) よらうがわりのうしきたぶち ちしきぎやくてんちそう
- 5 上総丘陵の砂岩泥岩互層(いすみ市) かすさきゅうりょう さがんていかんこそう
- 6 鋸山の「房州石」(富津市) のこぎりやま ぼうしゅういし
- 7 勝浦鵜原の黒滝不整合(勝浦市) かつうらうばら くるたきふせいそう
- 8 鴨川松島(鴨川市) かもがわまつしま
- 9 保田層群のカオス層(鴨川市) ほたそうぐん そう
- 10 沼サンゴ層(館山市) ぬま そう
- 11 白浜の海底地すべり堆積層(南房総市) しらはま かいていじ たいせきそう